

光鯢会だより

HP | <http://koukokai.jp/home>

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町 名古屋工業大学 社会工学科 建築・デザイン分野内

第33号 [令和4年12月]

発行 | 光鯢会
会長 | 小野徹郎 (S43)
本部長 | 井戸田秀樹 (S58)
連絡先 | 伊藤洋介 (MH17)

☎ 052-735-5508

✉ koukokai@archi.ace.nitech.ac.jp

I | 会長挨拶

□会長挨拶 「大学への光鯢会の役割」

小野徹郎 (S43) 光鯢会会長／名古屋工業大学名誉教授



師走を迎えすっかり冬の気配になりましたが光鯢会会員の皆様には、お元気にお各方面でご活躍のことと思います。

相変わらずのコロナ禍の中、今年も5月24日、光鯢会の評議委員会及び本部総会が井戸田本部長以下、役員の皆様のご努力でハイブリッドで行われました。10月29日には関西支部総会が、ハイブリッドで行われ私もリモートで出席させていただきました。支部として多くの活動をしていただきおり感謝申し上げます。当日は多くの方々が対面でご出席になり長谷川、鶴飼先輩ともお話しでき嬉しい時間が持てました。関東支部はこれからリモートで予定されているとのことです。この2年間、世界中が新型コロナウイルスに振り回され、多くの困難な状況下を過ごしてきました。大学教育も御多分に洩れず卒業式、入学式の中止・延期、学生の入構制限や授業のリモート化などに振り回されてきました。私自身もリモートによる授業の準備に時間が取られ、リモート授業のメリット、デメリットを経験してきました。先進国の中でも国の教育に対する投資が少ない中、バブルが弾けた後に公務員の定員削減という財源的視点から国立大学の民営化が進められ各大学は予算削減に苦しんでいます。これがどれだけ研究の進展にマイナスに

なったかは計り知れません。さらに今若者の間では理系、工学系離れが進んでいると言われています。我が国は人材のみが国を前進させる資源です。そこに大学教育の重要性があります。マスコミは地道な教育には目もくれず一見派手なパフォーマンスを報道する傾向があり、名工大の様な単科大学はその対象になる機会が少ないので現実です。結果OBの方から見ると名工大の現状を心配される向きも多いのではないかと思います。しかし名工大の中でも建築系の教育は対外的に高く評価されていますが、対外的なPRでは幾分遅れを取っています。その点で大学の姿勢に少し不満が有りますが、その話はまた別の機会に譲ります。光鯢会はこれまで「名工大建築フォーラム」、「鈴木禎次賞」などを開催し名工大建築系の外部へのPRにしっかり手を差し伸べてきました。

こうした光鯢会の活動は会員皆様の会費で運営されています。多くの会員から淨財をいただいていること厚く御礼申し上げます。しかし会費の納入率は、幾分増加傾向にありますですが思うように進んでいません。毎度同じことを申し上げますが、私としてはなんとか30%は超えたいと思っています。是非、今後とも会費の納入をよろしくお願い致します。名工大の建築系教育の更なる発展に光鯢会が深く関わり同窓の絆が深まることを願ってやみません。

II | 恩師だより

河田克博 (S50) 名古屋工業大学名誉教授



私は1993年から24年間、名工大に在職しておりました。その間、建築歴史を軸にした講義を多数こなし、研究面では、卒論生・修論生・博士生の論文指導をしてきました。結果として、指導した学生の論文で不合格・再提出者を一人も出さなかつたことは本当に幸いでした。これは私の貢献ということではなく、学生たちが良く頑張ってくれた賜物といえます。時には、学生たちから逆に刺激を受け、私の研究に活かせたこともあります。ただただ感謝する次第です。

定年退職後の今は、名工大のかかわりとしては、実務型教員として、建築設計製図Ⅱ(旧製図基礎)にほぼ隔週のペースで携わっています。退職後の2年間は、在職中の授業ペースでやれたのですが、3年目には新型コロナのため、

オンライン + 半人数対面のハイブリッド授業となりました。授業の始めには、製図器具の取り扱い方法、線の描きかた、課題説明などを行うのですが、今回はその説明をビデオカメラで撮影し、それをムードルに載せて学生が自宅で見たうえで各自が作業し、その作品を持参するか、もしくは郵送するという形態となりました。作業途上で、半数ずつ交代で製図室で作業するわけですが、製図室で作業するのを対面で見ますと、ビデオ説明で見たであろう内容が、かなりの学生に伝わっていました。つくづく製図のような演習は対面でないと教育効果が半減すると実感しました。コロナ前の通常授業となるのを切に願います。

学外では、私はとくに名古屋市の文化財調査に関わっており、そこそこ忙しくしています。

働き方・教育面の変化を余儀なくされた昨今ですが、皆様方のご発展・ご健勝を祈念いたします。

III | 卒業生は今

□本部

巣元 剛 (H10) (株)奥村組 名古屋支店

平成 5 年入学なぜか 10 年に卒業し、現在株式会社奥村組名古屋支店建築部にて従事しています。

今年 2 月に完成した武豊町温水プールは一般利用だけでなく地元の小学校 4 校も授業にて使用します。道路制限や上空高压線等の制限が多く役所との協議にも苦労しましたが完成して武豊町各小学校の生徒や町民の方々が喜んで使用してくれているのを見聞きし、良い建物を建設出来たと自負しています。

建築の現場では各方面に都度色々な出会いがあり、それぞれの思い入れ等があります。その建物を作る為に関係者との一体感や小さなドラマが生まれます。

今後しばらくこの仕事を続ける事になりますが後いくつのドラマを見ることが出来るか楽しみです。



□関東支部

伊藤 嘉喜 (H25) (株)大林組

大学院卒業後、入社してから 10 年目になります。

昨年の春に名古屋支店から札幌支店に転勤し、最近ニュースで話題となった北海道ボールパーク建設工事に携わりました。規模の大きさ、冬季期間の降雪中に工事を進めたことが特に印象的でした。規模が大きいため、何処から・どのように仕事を進めていけばいいのか。冬季期間は工事をする場所までの通路の除雪から始まり、温度が -15℃ では仕上げ工事が行えないため、シート等で工事する場所を囲い、採暖を行って工事を進めました。現在は再度転勤となり、ボールパークの完成を見届けることが出来なかったのです

が、何十年も残り、話題となる建物に関わることができ、仕事にやりがいを感じた 1 年半でした。

現在は九州支店の駅ビルの建設に携わっていますが、こちらも色々やりがいのある仕事です。



屋上防水工事開始 3 週間前



屋上防水工事開始 1 週間前

□関西支部

稻葉 一秀 (H2) (株)大林組

早いもので、卒業から 32 年がたちました。大林組では、入社以来、建築設計部にて好きな意匠設計の仕事を続けています。広島から始まり、大阪、東京、兵庫、名古屋等、各地でたくさんの人々と接し、その経験はとても貴重なものです。

現在は、大阪本店にて建築作品づくりを通して、もう一度、「建築への携わり方」を考えながら毎日を過ごしています。昨年度から母校の 3 回生の授業の中で話す機会もあり、刺激を受けました。

最近の作品は京都の佳水園再生保存です。ウェスティン都ホテル京都の数寄屋風別館として、村野藤吾氏設計で 1959 年完成、地形の変化を巧みに利用し自然の

中に溶け込む平面構成、軒の深さや屋根の薄さや箕甲の洗練されたデザインにより、村野氏代表作の一つです。完成後 60 年を迎える、『保存再生の改修と耐震補強+客室 2 室を 1 室+天然温泉付き浴室』の方針にて改修設計を行いました。村野ディテールへの敬意、客室監修者の中村拓志氏との協働等、得るものが多くありました。新しく葺き替えた檜皮葺の門をくぐると、日常の喧騒を忘れさせる安らぎの空間である、新たな佳水園がたたずんでいます。是非お越しください。



佳水園外観

IV | 大学は今

□分野長挨拶

楠原文雄 (TOK) 名古屋工業大学社会工学類副類長／建築・デザイン分野長／名古屋工業大学教授

光鰐会会員の皆様方には、常日頃より、学生および教員に対して温かいお心遣いをいただきしておりますこと、教員を代表して心より感謝申し上げます。

コロナ禍はまだ収束しておりませんが、学内ではワークショップのような実践的な活動も行えるようになってまいりました。本年度は1年生の授業の一環としてワークショップ「NITech Pavilion」を、Chen Ye 助教を中心に企画、実施しております。1年生が5つのグループに分かれ、キャンパス内の敷地に、木／竹等の植物由来の材料を主要な材料として、実際に2人以上が入ることができる空間を持つPavilionを計画し、建設するものです。今後、建設したPavilionの解体も学生自身により行う予定です。

また、9月25日・26日には、建築・デザイン分野と光鰐会の主催によりネットワークキャンパスを実施し、地域として資源循環にとり組む鎌倉と、産業廃棄物リサイクル工場を訪れました。12名の学生が参加し、光鰐会からは古市理

氏（H8年卒）と鬼頭朋宏氏（H22年卒）にご参加いただきました。学生グループごとに、現地での体験も踏まえて地域における資源循環の在り方について議論を深め、近く提案としてまとめる予定であります。

今後とも皆様には変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



「NITech Pavilion」の各 Pavilion と講評会の様子

□OB・OG交流会

村松伸彦 (H26) 大和ハウス工業株式会社

12月6日に光鰐会本部第17回OB・OG交流会が名古屋工業大学で開催されました。学部生、大学院生を対象に、OB・OGから仕事の内容や職場の様子、就活のアドバイス等を紹介し、今後の進路の参考にしてもらうことを目的に毎年開催されています。17回目の今回はコロナ対策をした上で、会場参加形式で行う形式を取りました。

第1部は先輩からの「仕事に関する本音の話」として、5名のOB・OGの方にゼネコン、ハウスメーカー、官公庁、施工関係、設計事務所の様々な立場から仕事内容や勤務状況等について紹介していただきました。

戸谷 奈貴さん（竹中工務店）

寺尾 敬哉さん（トヨタホーム）

武内 美有さん（愛知県庁）

細野 純さん（中部電力パワーグリッド）

松本 拓哉さん（伊藤建築設計事務所）

第2部は、先ほどの5名に光鰐会幹事も加え、各業界にわかれ、相談会を行いました。興味のある業界や職場に働くOB・OGに学生たちが話を聞き、より深い話を伺うことができ盛り上がっていました。

来年度は開催時期を早め、就活活動に連動した交流会にしたいと考えます。



□秋の見学会報告

佐野泰久 (H14) 名古屋市役所

11月12日、3年ぶりの開催となる光鰐会秋の見学会に初めて参加しました。

行き先は伊勢方面で、8時に鶴舞を出て伊勢神宮外宮参拝及びせんぐう館を見学、鳥羽の戸田家で昼食をとり、午後の内宮参拝とおかげ横丁界隈の散策後、帰路に就くという行程です。

個人的には何年前に行ったか記憶が定かでない程久しぶりのお伊勢さん。しかも外宮はおそらく初めての参拝です。バス車内でのガイドさんの伊勢神宮にまつわるエピソードを聞き、厳かな気持ちで参拝ができました。いつもの家族旅行では得られない、バス旅行ならではの楽しみをあじわいました。

昼食は伊勢の魚介類と地酒の美味しさに舌鼓を打ち、木々

の合間から見える伊勢湾を眺めながら露天風呂に入り、内宮参拝に備えて身を清めました。

その後、コロナ前の前回訪れた頃に引けを取らない人出に驚きながら、内宮を参拝し、そそくさと家族へのお土産を探しにおかげ横丁へ。コロッケなど食べ歩きながら買い物を楽しみました。

帰路は若干渋滞の影響はあったものの、概ね予定どおりに鶴舞に到着。仕事の関係やプライベートの話しながら、諸先輩方と様々なお話をしながら、有意義で濃密な一日を過ごすことができました。



V | 光鯨会は今

□関東支部だより

末廣 晃一 (S58) 関東支部長／(株)大林組



皆様、お疲れ様です。関東支部長の末廣です。早いもので、もう年末です。前回「コロナ禍がやっと収まって、11月の支部総会に向けて・・・」と書いたのですが、どうも駄目なようです。

7月に支部役員会をオンラインで開催したのですが、面着の支部総会には皆さん悲観的で、実際今は第8波の上り坂になってしまいました。貴重なOB交流の機会が、今年も持てなくなつたことを残念に思います。

この原稿を書きながら以前のものを読み返すと、この2年間コロナの事ばかり書いていました。2020年4月の緊急事態宣言から2年8ヶ月が経過しましたが、私の支部長の任期がスッポリ入ってしまっています。来年度からは、次の支部長さんにバトンタッチしますが、何とか申し訳ない気持ちです。

先日、来日したオペラ歌手のコンサートに行きました。超一流ではなく一流くらいの歌手の方でしたが、喉が絶好調という訳でもないのに、拍手は雷の様でした。ウクライナは戦争が続いているのに、サッカーのワールドカップに人々は熱狂し、中国ではゼロコロナ政策に反対デモが起きています。

本当に人々が、自粛生活に疲れ、溜まっていた渴望が噴出しているのを感じます。

社会政策はウイズコロナにシフトして来ているとは言いながらも、感染症法上の扱いが5類にならない限り、「抜けた」感は出て来ないような気もします。この支部だよりも、私が書くのは最後になります。何も出来なかった2年間でしたが、皆様ご協力ありがとうございました。

〒108-8502 東京都港区港南2-15-2 品川インターナショナルビル
(株) 大林組 (03-5769-1111)

関東支部長 末廣晃一 (S58)、副支部長 吉井正行 (S58)
事務局長 鈴木孝彦 (S59)、連絡担当者 田中薫 (S63)

□関西支部だより

田邊 太一 (S57) 関西支部長／大手前大学

10月29日に関西支部総会と見学会を開催しました。今年は、Webと対面を併用して支部総会の議事を進めました。

総会には、他の支部や工業会からの来賓も含め30名もの会員の方々に出席していただきました。来賓の光鯨会小野会長 (S43) と工業会大阪支部川越副支部長 (S47) からご挨拶を賜りました。また、光鯨会本部長の井戸田教授 (S58) より母校の近況を話していただきました。

コロナ禍での開催のため、総会後の懇親会は断念しましたが、会員相互の親睦を図るため、出席者全員に近況等のお話をいただきました。九州など遠方からの参加者もあり、Webならではの成果も上げることができました。

支部総会に先立ち、工事現場の見学会も実施しました。



関西支部総会（対面 於：中央電気俱楽部）

地上49階、高さ194mの鉄筋コンクリート造の超高層ビルです。100N/mm²を超える超高強度コンクリート等の最新の施工技術を見ることができました。ご案内戴いた竹中工務店の職員の方からも、「こんなにいろんな質問が出る見学者は珍しい。」と言われる程、盛会のうちに終わることができました。



工事現場見学会（於：ONE 堂島プロジェクト）

〒662-8552 兵庫県西宮市御茶家所町6-42

大手前大学 建築&芸術学部 (0798-34-6331)

関西支部長 田邊太一 (S57)、副支部長 神澤宏明 (S58)

事務局長 竹内健一 (H3)、連絡担当者 山崎航一 (H25)

□会員の日本建築学会各賞受賞、作品選集掲載（2022年）

- 2022年日本建築学会作品選奨『大宮区役所・大宮図書館』村瀬宏典（大成建設（株）設計本部建築設計第一部設計室長）
- 2022年日本建築学会作品選奨『NICCA イノベーションセンター』小堀哲夫（（株）小堀哲夫建築設計事務所代表取締役／法政大学教授）
- 2022年日本建築学会作品選奨『日本女子大学図書館』妹島和世（妹島和世建築設計事務所/SANAA／ミラノ工科大学教授）
- 2022年日本建築学会作品選奨『The Okura Tokyo／大倉集古館』国保潤（大成建設（株）設計本部シニアアーキテクト）
- 2022年日本建築学会奨励賞『袖壁付き柱、腰壁および垂れ壁付き梁のせん断弾性剛性』高橋之（大同大学准教授）

※受賞等なさった際には、ぜひ、ご一報ください。また、同窓会受賞等をご存じでしたらご一報ください。上記、本会本部事務局まで。

光鯢会だより

第33号 [令和4年12月] 特集版

発行 | 光鯢会
会長 | 小野徹郎 (S43)
本部長 | 井戸田秀樹 (S58)
連絡先 | 伊藤洋介 (MH17)
☎ 052-735-5508
✉ koukokai@archi.ace.nitech.ac.jp

HP | <http://koukokai.jp/home>

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町 名古屋工業大学 社会工学科 建築・デザイン分野内

□鮓ボックス寄付者 2022/6/29～2022/12/5にお手配くださった方を記載（敬称略）

[S25] 蟹江 三郎 (4)、横井 正治 (1)、[S28] 西山 領 (2)、[S32] 清谷 太一 (1)、[S33] 山口 隆史 (1)、[S34] 澤村 宏明 (6)、[S35] 宮城 利雄 (2)、
[S36] 藤野 康彦 (1)、渡辺 誠一 (2)、[S38] 鵜飼 邦夫 (2)、長谷川 孝 (2)、吉永 深 (1)、[S39] 岡本 賢 (2)、村瀬 正晴 (2)、高橋 宏之 (1)、山田 宗廣 (1)、
[S40] 柿沼 敬喜 (1)、三好修 (2)、堤眞司 (1)、[S41] 加藤 劍治 (1)、高橋 信男 (1)、[S42] 久保寺 真 (2)、黒川 喜洋 (2)、[S43] 小野徹郎 (1)、高橋繁二 (2)、
内藤克己 (1)、薬師寺 宣安 (2)、山中藤喜 (1)、後藤 和彦 (1)、藤本 晓吉 (2)、[S44] 原弘久 (2)、山桥勝彌 (1)、[S45] 田中孝典 (1)、永田 敬雄 (2)、吉田則雄 (1)、
[S46] 岡崎 格郎 (2)、吳屋 守将 (2)、野呂 一幸 (1)、森 英範 (2)、[S47] 橋本徹二 (1)、[S49] 村上貞明 (1)、玉置 博計 (1)、[S50] 井上 修一 (2)、吉村 尚 (1)、
[S51] 岩本 隆 (1)、慶佐次 操 (2)、佐藤 昌紀 (1)、[S52] 熊野 俊明 (2)、[S54] 中村 浩巳 (2)、[S55] 朝倉 祥行 (1)、杉澤 和男 (1)、水谷 公子 (1)、
[S56] 小林 秀実 (1)、伏見 光雅 (1)、[S57] 高木 晃二 (2)、松井 明子 (2)、[S58] 中蘭 昭 (2)、新美 康夫 (1)、廣瀬 善香 (1)、山下 明男 (1)、渡邊 陽平 (2)、
[S59] 鹿島 孝 (2)、鈴木 孝彦 (1)、[S60] 土井 邦夫 (1)、[S62] 加藤 茂裕 (1)、[S63] 深見 忠明 (1)、[H02] 罠田 博文 (1)、杉浦 馨 (1)、寺西 敏 (1)、
[H03] 近藤正一 (1)、谷口智則 (1)、二村定治 (1)、[H04] 吉田文久 (1)、[H05] 夏目欣昇 (1)、[H07] 羽生田 善将 (1)、[H08] 鈴木晶博 (2)、土方 和己 (1)、
[H09] 加古康也 (1)、[H10] 花井伸明 (2)、[H11] 上里智之 (1)、小山裕介 (1)、神野貴之 (1)、[H12] 岡田貴行 (1)、藤井理史 (1)、[H16] 佐々木哲朗 (2)、
[H20] 岩波史恵 (1)、[H25] 戸谷奈貴 (1)、[H26] 山崎香菜絵 (1)、[H27] 杉岡 敬幸 (1)、[MS46] 上林研二 (1)、[MS49] 小倉正憲 (2)

※ご寄付いただいた額の口数をお名前の後ろに記載しております。なお、5000円未満を1口とさせていただいております。

※鮓ボックスへの寄付は隨時受け付けております。ご寄付くださる際、ぜひメッセージを添えてください。適宜、本紙にて紹介いたします。

□年会費納入者（一般・自動振込・終身） 2022/6/29～2022/12/5にお手配くださった方を記載（敬称略）

[S43] 岡田 典久、小野 延郎、亀山 義比古、川上 博敬、菊池 俊明、上坂 成輝、瀬川 正俊、高橋 繁二、豊田 鐘雄、内藤 克己、松本 哲、峯澤 慧一、村井 建夫、
薬師寺 宣安、山中 藤喜、後藤 和彦、深尾 章由、藤本 晓吉、[S44] 天野 政明、井川 憲男、市橋 隆、中井 勝敏、西本 憲夫、橋村 一彦、原 弘久、柳沢 由紀子、
山川 元伸、山口 博史、山桥 勝彌、渡邊 好之、戸川 仁、[S45] 荒金 謙一、北山 和明、坂田 孝之、菅野 淳博、須山 一彦、田中 孝典、鳥居 徳敏、永田 敬雄、
西村 正和、三浦 忠雄、三澤 紀夫、宮崎 勝秀、山本 栄治、吉田 則雄、和田 邦稔、[S46] 乾 康雄、江畑 弘、岡崎 格郎、奥原 久之、久野 道夫、小林 哲郎、
吳屋 守将、近藤 豊太郎、齋藤 彰良、竹川 忍、野上 邦宏、野呂 一幸、福井 一博、松田 登、三浦 茂、元谷 瑛、森 英範、[S47] 石田 進、大村 健一、春日 晴紀、
片山 憲一、川嶋 陽介、河村 孝一、佐伯 克彦、島田 啓三、鈴木 讓二、難波 剛、野田 雅司、橋本 延二、平松 充、宮口 恒樹、[S48] 大橋 芳雄、小野 利晴、
河崎 恭広、川端 寛文、勢力 常史、閔戸 博高、高村 利昭、西村 雅史、平野 悟、前田 俊雄、森 雅幸、柳川 進一、渡邊 拓人、[S49] 石田 壽、市川 達夫、
村上 貞明、遠藤 茂樹、小川 修、小松 信春、瀧下 英明、竹島 幸彦、玉置 博計、中本 浩二、満田 高久、湯本 尚樹、[S50] 伊賀 敬一、石川 恵子、
井上 修一、岡本 光生、小田 義彦、小田 一之、河田 克博、上林 進、金斗 克彦、楠田 修三、畔木 積治、黒田 孝亮、鈴木 幸治、須原 享志、高橋 和生、竹内 一博、
竹内 三郎、龍野 広、萩田 雅也、松永 勝己、宮崎 光生、八神 博史、山田 一信、吉村 尚、[S51] 天野 修、井澤 知旦、掛布 勇、河合 克美、来田 光博、北出 正俊、
慶佐次 操、齋藤 文伸、酒井 直己、佐藤 昌紀、武内 幸章、武田 雄二、玉水 新吾、千葉 茂樹、西井 信幸、布目 彰夫、水谷 章夫、三村 俊雄、吉原 俊雄、
[S52] 浅野 泰樹、市之瀬 敏勝、岩井 衛、三宅 宏、熊野 俊昭、小林 信介、未永 俊彦、武仲 裕司、樽見 大三、早矢 伸昭、藤澤 繁男、真井 邦晃、渕口 実弥、
[S53] 東加寿好、伊藤功、伊藤 雅春、神谷 省次、木村 正彦、杉戸 厚吉、早矢 伸昭、藤澤 繁男、森本 泰崇、山中 博、[S54] 石川時雄、井上 康造、岩波 正、
小池 博之、小山 裕康、里川 幸夫、高橋 茂治、田中 清之、谷 宣広、谷垣 正彰、豊島 直人、中出 裕康、中西 達彦、中村 浩巳、安田 勝彦、山崎 健司、
[S55] 朝倉 祥行、岡本 哲美、勘代 敬子、工藤 高宏、久保 光範、古賀 靖廣、小島 功、杉澤 和男、鈴木 雅宏、谷口 裕、慈谷 隆、水谷 公子、水谷 信雄、
三宅辰哉、宮本和則、[S56] 梶山和生、池村和久、大竹 康久、上梅澤 保博、桑原史明、小林 秀実、雜賀 俊宏、坂口 輝吉、佐久間 昭男、高嶋繁男、高藤 勝己、
疊谷 尚広、中西 正明、長谷部 義、平野 富之、伏見 光雅、藤本 信介、堀之内 雄一、[S57] 磯貝 勇壽、内田 光一、大塚 善史、北本 義郎、黒野 忠之、坂口 敏雄、
杉本 靖、高木 晃二、竹内 義高、竹村 誠二、田邊 太一、徳野 亨、中川 進一郎、服部 豊、花井 勉、福田 満、松井 明子、水谷剛、山邊 雅英、[S58] 石田 富男、
井戸田 伸、岩田 康徳、宇崎 功二郎、裏橋 信夫、大川 徹、小倉 俊彦、神澤 宏明、川島 猛、近藤 修、末廣 晃一、鈴木 勉、須原 宏、武田 敏史、立川 淳、
豊田 光利、中蘭 昭彦、新美 康夫、野田 勝久、廣瀬 善香、藤井 修、水谷 且哉、宮浦 克仁、山下 明男、吉井 正行、吉田 賢吾、渡邊 陽平、[S59] 市之瀬 和明、
小川 浩信、鹿島 孝、唐澤 邦夫、河辺 伸二、児玉 博、小山 明、鈴木 孝彦、田口 亮一、田中 義成、中尾 勝悦、中瀬 知幸、西村 吉史、丹羽 一人、林 裕二、
宮地陽司、山下 司、吉本辰哉、[S60] 市川健二、大場 光晴、柴田 利治、杉坂 正、角 克彦、住 哲也、柘植 誠、土井 邦夫、羽津本 好弘、藤林 和照、松田 浩司、
森 恵美、山川 博幹、[S61] 上村 肇、小西 啓之、近藤 伸一、坂本 拓三、佐藤 文雄、佐藤 正幸、白石 記、中田 浩、辻 博久、[S62] 今井 奈穂美、加藤 茂裕、
川井 裕基、黒崎 仁資、黒崎 英子、小坂 喬峰、近藤 浩史、高野 貢一、富田 彰次、中村 勝彦、平沢 実、[S63] 石井 俊作、石田 交広、大西 稔、岡田 秀明、
河尻 出、田中 薫、野田 雄一、羽入田 茂、深見 忠明、[H1] 生本 孝幸、石垣 秀圭、加藤 伯彦、武田 基、寺本 光治、松永 茂巳、吉口 勝史、渡邊 明宏、
[H2] 安藤 敦也、稻葉 一秀、大木 仁、岡田 博文、清原 猛嗣、佐橋 政人、杉浦 馨、高岡 秀明、田中 国彦、田中 康範、恒川 真一、寺西 敏、長尾 茂樹、
沼田 岳彦、長谷川 利樹、森 和久、横尾 慎一、渡邊 諭、[H3] 井上 寿、宇井 一哲、宇佐美 徹、護謹堂 淳、近藤 正一、竹内 健一、谷口 智則、寺田 憲二、
二村 定治、池沼 靖子、宮島 孝之、安田 哲也、山田 知樹、渡邊 孝一、[H4] 石原 清孝、釜田 伸、佐藤 裕一、武藤 正樹、吉田 文久、和田 真、[H5] 伊藤 篤之、
岩島 夏哉、大久保 俊好、川端 克尚、下野 耕一、鶴田 幸恵、豊田 明康、永田 誠、夏目 欣昇、羽生田 剛成、牧野 健、山崎 純一郎、山本 瞳生、[H6] 浅野 健、
安藤 健、池田 孝洋、宇佐美 智伯、北塙 祐子、近藤 崇、阪 正憲、柴田 昌俊、瀬藤 慎一、西村 幸洋、橋本 幸治、牧野 利華、[H7] 奥山 照美、
上之郷 貴重、是澤 紀子、長江 健治、羽生田 善将、林 隆成、本並 洋二、山縣 正、鷺津 愛、鷺津 篤夫、[H8] 市川 有希子、伊藤 嘉規、川地 秀和、北川 啓介、
木下 淳、鈴木 晶博、中村 雅之、中村 祐保、土方 和己、[H9] 青木 哲、浅野 正裕、加古 康也、田中 俊洋、竹内 靖子、[H10] 北川 珠美、金 純、木村 文子、
佐藤 篤司、巣本 刚、辻 刚、成田 恵人、花卉 伸明、濱口 順司、[H11] 上里 智之、大山 勝巳、勝木 隆洋、小林 竜馬、小山 裕介、近藤 哲雄、神野 貴之、
富森 雅春、林 幸司、吉田 孝司、[H12] 大島 積、大橋 一仁、岡田 貴行、角田 高志、佐々木 和紘、澤井 清輔、藤井 理史、森 洋一、[H13] 勝木 直子、魚住 将之、
大川 奈津子、水谷 安孝、山崎 賢二、渡部 友幸、[H14] 井上 雄貴、奥田 崇、上坂 一譲、笛崎 紀子、田中 弘臣、野田 聰、佐野 泰久、日比野 陽、[H15] 安藤 悟、
井川 崇史、上原 大輔、野本 篤史、山本 浩司、[H16] 山田 梨佳、石川 雄一、菅野 貴孔、佐々木 哲朗、山田 厚治、山本 祐樹、[H17] 清水 玲子、佐藤 和哉、
澤 秀俊、新田 兼也、[H18] 小澤 秀允、高市 真太郎、長坂 理真子、箕田 知之、[H19] 今村 こゆき、加藤 邦智、松本 浩明、[H20] 池田 光太郎、大谷 友香、
岩波 清史、二井 健、斎田 仁美、[H21] 金子 庆太、鈴木 康祐、平井 健一、吉田 和也、[H22] 小島 崇徳、西本 真代、[H23] 青山 昇洋、浅野 晃宏、伊藤 嘉基、
嶋 亜由美、小林 優子、熊谷 真伍、彦坂 雄三、[H24] 川瀬 喬久、桑山 もも、松村 侑大、松本 拓也、水野 翔太、三井 和也、山川 陽平、[H25] 石原 昌紀、
伊藤 大輝、岡本 光平、春日 功助、木田 脩太、小林 亮太、戸谷 奈貴、中村 公哉、橋本 慧、久木 宏紀、山崎 航一、小笠原 裕光、[H26] 加藤 千尋、木全 泰基、
歳野 洋美、小林 恵、佐々木 裕佑矢、新海 智之、平 翔、谷澤 佑典、山崎 香菜絵、[H27] 内山 咲、帶名 海戻、加藤 正都、久保 彰平、榎原 崇文、杉岡 敏幸、
鈴木 好昭、田中 匠哉、中澤 真平、中野 祐輔、守谷 直人、[H28] 青山 雅弘、高橋 純恵、大嶽 伸、小川 隼平、河合 大志、後藤 良介、高井 峻、西山 史晃、
平野 有未、山田 風人、吉本 隼、[H29] 鈴木 宏彰、山口 有鹿、早川 健一、吉田 成克、[H30] 稲垣 好美、鈴木 泰嗣、岸川 拓人、鈴木 陽介、[H31] 井上 裕太、
岡田 徹也、柴垣 有希穂、中石 湧也、林 哲朗、森 瞳太、[R2] 大石 龍之介、田上 功也、保崎 慎一郎、[R3] 上村 侑大、小野 和也、金子 真大、北川 佑亮、
柴田 雄太、谷 俊栄、中山 晋吾、長谷 真彩、藤川 真、松田 桜、峰 早知恵、森 元 大成、山本 隆平、横田 太志、[R4] 石津 直人、丹羽 佑太、村雲 仁、
[MS43] 油浅 耕三、[MS46] 上林 研二、[MS49] 小倉 正憲、[MS52] 尾崎 猛美、細川 裕司、[MS56] 岡本 真理子、服部 光夫、[MS57] 城戸 康近、
[MH1] 大嶺 むつみ、[MH4] 張 奎文、[MH7] 荒木 孝一、[MH10] 服部 径子、[MH11] 富山 正士、[MH15] 加納 進、[MH16] 下山 悠、
[MH17] 伊藤 洋介、[MH18] 安田 知永、杉山 祐一郎、[MH21] 小島 恵子、[MH22] 崔 明姫、[MH27] 藤川 大輝、[DH5] 沖本 弘、[DH8] 趙 衍剛、
[DH12] 高木 清江、[DH23] 高橋 之、[DH25] 金田 美世、[DR3] 水野 貴子

※光鯢会だよりでは会員からの投稿を募集しております。お知らせや近況等、本会本部事務局までお知らせください。